

特別 S2 STOP スカウト減少!

担当:

第3日 8:30~10:00 (90分)

【目標】

参加者は、このセッション終了時に次のことが達成できる。

1. 新規加盟員の獲得と中途退団抑止するための原因を探る。
2. その解決の糸口を見つけて、団の運営に役立てられる。

【指導上のねらい】

1. 「プログラムに不満」「指導者に不満」「組織に不満」の表、そして「母親世代タスクチーム」報告書をもとに、スカウト年代の子どもを持つ保護者（特に母親）がこの運動に求めていること、不満に思っていることを知る。
2. 「人を集める技術（古谷真一郎 著）」の内容を確認して、団運営・隊運営で気づいていないことを洗い出し、改善の材料とする。
3. それらを分析することで、団の運営、隊の運営、隊の活動をどのように Change していけばいいのかを探っていく。

【セッションの展開】

1. 展開

(1) 導入 (5分)

スカウト数の減少に歯止めがかからない。

茨城県連は MAX6,000 人弱いた加盟員が、今年は、2,000 人まで、減少。(日連は Max330,000。現在 10 万人を切った)

各団とも、いろいろな施策を行っているが、ほとんど効果が上がっていない。

その原因はどこにあるのか・・・をこれから探っていこう。

(2) 展開 (80分)

問題点の洗い出し → 対策・対応 → 実施スケジュール

【講義】(5分)

(1) 「ボーイスカウト」ってどんな団体?

① 長くボーイスカウトをやっている人が嵌まってしまっている落とし穴。

今の皆さんの状態。

→ ボーイスカウト用語、

→ (例) コーヒー飲料。我々はコーヒーの色・味に重きを。

一般の方は、「容器のデザイン」に注目している。

購買意欲をそそるデザイン、そそらないデザイン。

どっち買う? BS は売れない伝統デザインの缶コーヒー。

② 我々はコーヒーの色・味はたくさん知っているけれど、ボーイスカウトという「コーヒー」そのものの表現が統一されていない。

→ 団体イメージが不明確

(2) キーワードを示して、それに対してプレストを行う。(8分)

① まず、プレストの説明とルールを。

② グループごとに、同じテーマでプレストを行う。

● 準備品 (資材・資料)

グループディスカッション用 WS

・ プロジェクターと書画カメラ

・ ワークシート (各人 2、提出用 4)

・ サインペン

● 留意点

①

②

③テーマを提示する前に次の表を示し、簡単に説明する。

1	プログラムへの不満	子供会との差異がない。 プログラムのレベルが低い、新鮮味がない。 ワクワク・ドキドキ感がない。 少年の心に訴えるものがない。
2	指導者への不満	スカウティングに期待した特長が見えてこない。 指導者としての適性（主に信頼感）に疑問。 指導者全体の技能レベルが低い。 時間の使い方にメリハリがない。 子供たちとの関係にもけじめがない。
3	組織への失望感	理念と現実とのギャップが大きい。埋める意識が見えない。 活動方針が明確でない。目標・目的が見えてこない。 奉仕の強要が多い。 費用対効果が見えてこない。

- これは、2012年（H24年）6年ほど前に日本連盟から提示されたもの。
- この6年間で、これらが解決されたか…「否」である。それは、組織として取り組むという施設が見られなかったから。
- この6年間で、事態はどんどん悪くなってきているが、「打開策」が打ち出されていない。…？、これがあるではないか。
→単に取り組んでこなかっただけ。

④では、ここでその道筋を作っていこう。

(3) プレストの方法。(2分)

- ①(例) テーマが「**どうしてプログラムへの不満が生じるのか**」であれば
- 「現象」「問題点」「対策」「実行案」の4ステップをプレスト
→ワークシートを配付（個人用：各2、提出用：4）
 - 1つの「現象」から3つの「問題点」、その問題点の1つから4つの対策…が出てくるかもしれないが、それらを全て記入する。
 - 提出用は、サインペン（太字）で記入

(3) プレストの実施→発表。(60分)

- ①テーマは「**指導者への不満**」「**組織への失望感**」の2つ。
グループごとにそれぞれのテーマでプレストをする。(40分)
※各グループにファシリテーター（進行役：所員）を置く。
まとめ役と発表役を決めて実施
- ②まとめ用紙を回収し、人数分コピーをとる。(5分)
【5分休憩】
- ③プレストの内容を発表(15分)
※コピー配布
各グループ5分以内で。
※発表を聞きながら、更に気づいた（浮かんだ）ことをそれに書き込む。(団で活用できる資料として持ち帰らせる)

【まとめ】(5分)

1. 「プログラムに不満」「指導者に不満」「組織への失望感」が明示されているのに、旧態依然の団運営で、抜本的な解決がなされていない。
「母親世代タスクチーム」も活かされていない。
これらの、報告(書)を活用して、スカウト年代の子どもを持つ保護者（特に母親）がこの運動に求めていること、不満に思っていることを団として

全指導者で確認してもらいたい。

2. 「人を集める技術（古谷真一郎 著）」という本が出ている。これは非営利組織の問題点をあげその対策を記したものだ。これがすべてボーイスカウトに会っているかどうかは、皆さんが、それを熟読して判断してもらいたい。少なくとも、10個以上の改善のヒントが掲載されていた。
3. それらを分析することで、団の運営、隊の運営、隊の活動をどのようにChangeしていけばいいのかを探っていく。
Changeへの動きを作り出すのは、あなた「団委員長」です。